

1 単元指導計画 ア:「知識・技能の定着に重点を置く授業」イ:「知識・技能を活用し, 思考力・判断力・表現力などを育むことに重点を置く授業」

単元	単元のきよみずガエル君 新しく分かったことは何かな? できるようになったことは何かな? 自分の考えをお話できたかな?			
時	1・2 (ア)	3 (ア)	4 (ア)	5 (ア)
ねらい	かさの測定の操作を通して, 端数部分の大きさを表すのに小数が用いられることに気づき, 小数の表し方と読み方を理解することができる。	テープの長さを何 cm と表せばよいか考える活動を通して, 長さも小数を使って表すことができることに気づき, 長さを小数に表すことができる。	小数を数直線図に表す活動を通して, 0.1 が10個集まると位が1つ上がることに気づき, 小数の十進数構造を理解することができる。	小数の大小比較や小数を分数で表す活動を通して, 数直線で大小関係をすればよいことや $\frac{1}{10}=0.1$ の関係に気づき, 数直線を使って数量関係を把握することができる。
問題	ポットに入っている水のかさをはかったら, 2L とあと少しはしたががありました。水のかさは全部で何L といえいいでしょう。	テープの長さは, 何 cm といえよいでしょう。	0.7L と 2.6L を下の線に表しましょう。	1.2, 0.8, 2.1, 0.5, 1 を小さい順に書きましょう。
課題	あと少しのはしたの表し方を考えよう。	テープの長さを何 cm といえよいか考えよう。	小数を数の線に表そう。	小数の大きさを比べよう。
まとめ	1L の $\frac{1}{10}$ を 0.1L と表すことができる。0.1 や 2.3 のように表した数を小数という。	長さを表すときも小数を使って表すことができる。	小数も, 同じ位の数が10個集まると位が1つ上がる。数の線を数直線という。	数直線を使えば, 小数同士や小数と分数の関係を比べることができる。
評価規準	【知】端数部分を小数で表す表し方や読み方を理解している。	【技】複名数で表された長さを小数を用いて単名数で表すことができる。	【技】数直線上に小数を表したり, 表されたりした小数を読み取ったりすることができる。	【技】小数の大小関係を比較することができる。【知】 $\frac{1}{10}$ を単位とした分数と小数の関係を理解している。
きよみずガエル君	新しい数について分かったことは何かな? ・1L の $\frac{1}{10}$ を 0.1L という。 ・0.1 や 2.3 のような数字のことを小数という。	小数について新しく分かったことは何かな? ・長さも小数を使って表すことができる。 ・1 cm を10等分した1つ分を 0.1 cm と表すことができる。	小数について新しく分かったことは何かな? ・0.1 が10個集まると位が1つ上がり1になる。 ・小数点のすぐ右の位を「 $\frac{1}{10}$ の位」, 「小数点第一位」という。	数直線を使ってお話できたかな? ・0.5 と 0.8 では 0.8 の方が右にあるので 0.8 の方が大きい。 ・1 を10等分した1つ分なので, $\frac{1}{10}$ と 0.1 は同じ大きさである。
具体的な評価の場面	図を見て, 0.1L のいくつかを考えて, 水のかさを表そう。	0.1 cm のいくつかを考えて, 長さを表そう。	0.1 のいくつかをもとに数直線のめもりが表す小数を表そう。	数直線を用いて小数の大小関係を表そう。 $\frac{1}{10}$ と 0.1 の大きさが等しいことをもとにして数直線に数を書き入れよう。
具体的な児童の姿	・1L を10等分した1つ分である 0.1L が6つあるので水のかさは 0.6L。	・アは1 cm を10等分した1つ分である。0.1 cm が7つあるので, 0.7 cm。 ・イは4 cm と 1 cm を10等分した1つ分が5個あるので 4.5 cm。	・アは 0.1 のめもりが3こあるので 0.3。 ・イは 0.1 のめもりが9こあるので 0.9。 ・ウは 0.1 のめもりが15こあり, 0.1 は10個で1に繰り上がるので 1.5。	・(数直線図を指しながら) 2.2 と 1.8 では 2.2 の方が右にあるので $2.2 > 1.8$ 。 ・ $\frac{1}{10}$ と 0.1 は同じ大きさなので, それが2つ分の $\frac{2}{10}$ と 0.2 は同じ大きさ。

1 単元指導計画

ア:「知識・技能の定着に重点を置く授業」イ:「知識・技能を活用し、思考力・判断力・表現力などを育むことに重点を置く授業」

単元	単元のきよみずガエル君 新しく分かったことは何かな? できるようになったことは何かな? 自分の考えをお話できたかな?		
時	6(イ)	7(イ)【本時】	8(イ)
ねらい	分数と小数でどちらが大きいかを考える活動を通して、小数か分数のどちらかにそろえればよいことや数直線上に表せばよいことに気づき、分数の大小比較をすることができる。	小数のたし算の仕方を考える活動を通して、小数のたし算は0.1のいくつか分で考えればよいことに気づき、 $\frac{1}{10}$ の位までの小数のたし算を計算することができる。	小数のひき算の仕方を考える活動を通して、小数のひき算はたし算と同じで0.1のいくつか分で考えればよいことに気づき、 $\frac{1}{10}$ の位までの小数のひき算を計算することができる。
問題	$\frac{6}{10}$ と0.7ではどちらが大きいでしょう。	ジュースが0.5L入っているパックと0.3L入っているパックがあります。1つのびんに入れると何Lになるでしょう。	牛にゆうがパックに0.6Lありました。ケーキを作るのに、0.2L使いました。パックの中の牛にゆうは何Lになったでしょう。
課題	分数と小数の大きさのくらべ方を考えよう。	小数のたし算のしかたを考えよう。	小数のひき算のしかたを考えよう。
まとめ	分数と小数を比べる時は、分数か小数のどちらかにそろえたり、数直線上に表したりすればよい。	小数のたし算は、0.1のいくつか分で考えて計算する。	小数のひき算も、小数のたし算と同じで0.1のいくつか分で考えて計算する。
評価規準	【考】小数と分数の関係をもとに、大小比較の仕方を考えている。	【考】0.1のいくつか分という見方をもとにして小数の加法の計算方法を説明している。	【考】0.1のいくつか分という見方をもとにして小数の減法の計算方法を説明している。
きよみずガエル君	分数と小数の比べ方をお話できたかな? <ul style="list-style-type: none"> 分数か小数のどちらかに数をそろえれば比べることができる。 数直線上に表せば、大きさを比べることができる。 	小数のたし算で分かったことは何かな? <ul style="list-style-type: none"> 小数のたし算は0.1のいくつか分で考えて、整数のたし算のように計算する。 	小数のひき算のしかたで考えをお話できたかな? <ul style="list-style-type: none"> 小数のひき算も小数のたし算と同じで0.1のいくつか分で考えて、計算する。
具体的な評価の場面	小数か分数のどちらかにそろえたり、数直線図に表したりして小数と分数の大小比較をしよう。	0.5+0.8の計算のしかたを考えよう。	0.1のいくつか分で考えるという根拠を明確にして計算の仕方を説明しよう。
具体的な児童の姿	<ul style="list-style-type: none"> 0.8を分数に直すと1を10個に分けた8つ分なので$\frac{8}{10}$です。$\frac{9}{10}$と$\frac{8}{10}$では、$\frac{9}{10}$の方が大きいので$0.8 < \frac{9}{10}$。 $\frac{9}{10}$を小数に直すと1を10個に分けた9個分なので0.9。0.8と0.9では0.9の方が大きいので$0.8 < \frac{9}{10}$。 	<ul style="list-style-type: none"> 0.5+0.8で、0.5は0.1の5個分、0.8は0.1の8個分、合わせると0.1が5+8=13で13個あるので答えは1.3。 	<ul style="list-style-type: none"> 1.2-0.7、1.2は0.1の12個分、0.7は0.1の7個分、12-7=5なので0.1が5つ残る。だから答えは0.5。

1 単元指導計画

ア:「知識・技能の定着に重点を置く授業」 イ:「知識・技能を活用し、思考力・判断力・表現力などを育むことに重点を置く授業」

単元	単元のきよみずガエル君 新しく分かったことは何かな? できるようになったことは何かな? 自分の考えをお話できたかな?		
時	9 (ア)	10 (ア)	11・12 (イ)
ねらい	一の位のある小数のたし算の仕方を考える活動を通して、整数のたし算と同じように筆算で計算できることに気づき、小数のたし算を筆算で計算することができる。	一の位のある小数のひき算の仕方を考える活動を通して、整数のひき算と同じように筆算で計算できることに気づき、小数のひき算を筆算で計算することができる。	基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟する。
問題	スポーツドリンクが3.5L入っている入れ物と、2.8L入っている入れ物があります。1つの入れ物に入れると何Lになるでしょう。	スポーツドリンクを6.3L持ってきました。4.7L飲むと、残りは何Lになるでしょう。	まとめの練習を解きましょう。
課題	一の位のある小数のたし算の計算のしかたを考えよう。	一の位のある小数のひき算のしかたを考えよう。	今まで学習したことを使って、まとめの練習に取り組もう。
まとめ	一の位のある小数のたし算の筆算は、位を揃えて整数と同じように計算し、最後に答えの小数点をうつ。	一の位のある小数のひき算の筆算は、位を揃えて整数と同じように計算し、最後に答えの小数点をうつ。	
評価規準	【技】 $\frac{1}{10}$ の位までの小数の加法の計算を筆算でできる。	【技】 $\frac{1}{10}$ の位までの小数の減法の計算を筆算でできる	【技】小数の大小比較や、加減の計算をすることができる。
きよみずガエル君	小数のたし算でできるようになったことは何かな? <ul style="list-style-type: none"> • 小数のたし算も整数のたし算と同じで、筆算で計算できる。 • 位をそろえて、最後に小数点を打つことで筆算を正しく計算することができた。 	小数のひき算でできるようになったことは何かな。 <ul style="list-style-type: none"> • 小数のひき算も整数のひき算と同じで、筆算で計算できた。 • 位をそろえて、最後に小数点を打つことで筆算を正しく計算することができた。 	小数でできるようになったこと、分かったことは何かな? <ul style="list-style-type: none"> • 1を10個に分けた1つ分が0.1だと分かった。 • 小数と分数の大きさを比べられるようになった。 • 小数のたし算やひき算ができるようになった。
具体的な評価の場面	計算の順序を説明しながら正しく計算しよう。	計算の順序を説明しながら正しく計算しよう。	まとめの練習
具体的な児童の姿	<ul style="list-style-type: none"> • 5.4+3.7を筆算で計算する。 はじめに位をそろえる。 次に整数のたし算と同じように小さい位から計算する。 $\frac{1}{10}$の位を計算する。4+7=11 一の位に1繰り上げる。 一の位を計算する。5+3+1=9 最後に、上の小数点にそろえて小数点を打つ。答えは9.1。 	<ul style="list-style-type: none"> • 6.4-3.5を筆算で計算する。 はじめに位をそろえて書く。 次に整数のひき算と同じで小さい位から計算する。 $\frac{1}{10}$の位で4-5はできないので、一の位から繰り下げる。 一の位から1繰り下げて14-5=9。 一の位は先に1繰り下げたので、5-3=2。 最後に小数点を打ち、答えは、2.9。 	<ul style="list-style-type: none"> • 1の$\frac{1}{10}$が0.1だということが分かった。 • 数直線を使って小数を表したり、読んだりできるようになった。 • 小数同士や小数と分数の大きさが比べられるようになった。 • 小数のたし算やひき算ができるようになった。

2 本時のわらい 小数のたし算の仕方を考える活動を通して、小数のたし算は0.1のいくつか分かで考えればよいことに気付き、 $\frac{1}{10}$ の位までの小数のたし算を計算することができる。

3 本時の展開

①単元のきよみずガエル君

新しく分かったことは何かな？ できるようになったことは何かな？ 考えをお話できたかな？

②本時のきよみずガエル君 小数のたし算で新しく分かったことは何かな？

第1ブロック

⑨前時の問題・単元

- 小数の復習をする。
- ・小数も整数と同じで、同じ位の数が入ると位が1つ上がる。
- ・数の線を数直線といい、大きさの関係を表すことができる。

⑩学習課題をつかむ思考の活性化

【問題】ジュースが0.5L入っているパックと、0.3L入っているパックがあります。1つのびんに入れると何Lになるでしょう。

- ・分かっていることは、「ジュースが0.5L入っているパックと、0.3L入っているパックがあります。」
- ・求めたいことは、「1つのびんに入れると何Lになるでしょう。」
- ・式は $0.5+0.3$ で、わけは2つの数を1つに合わせた全体を求めるから。
- 小数のたし算という今までとの違いに注目させて、課題化を図る。
- ・整数と同じように計算できそうだ。

第2ブロック

⑥課題

小数のたし算のしかたを考えよう。

⑦数学的活動の思考の活性化

(さくら)

○数直線を使って考える。

- ・0.5はめもり5個分、0.3はめもり3個分、合わせると $5+3=8$
- ・0.1のめもりが8個なので答えは0.8

(つばさ)

○0.1のいくつか分かで考える。

- ・0.5は0.1の5個分、0.3は0.1の3個分、合わせると $5+3=8$
- ・0.1の8個分なので答えは0.8

⑧まとめ

小数のたし算は、0.1のいくつか分かで考えて計算する。

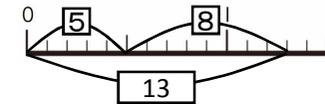
第3ブロック

④問題の2つ目

0.5+0.8の計算のしかたを考えましょう。

⑤振り返し(まとめ)の思考の活性化

- 数直線を使って考える。
- ・0.5はめもり5個分、0.8はめもり8個分、合わせると $5+8=13$
- ・0.1のめもりが13個なので答えは1.3



- 0.1のいくつか分かで考える。
 - ・0.5は0.1の5個分、0.8は0.1の8個分、合わせると $5+8=13$
 - ・0.1の13個分なので答えは1.3
- りんご問題「0.4+0.6」では、答えが1.0になったときは小数点第一位の0は消すことを教える。

③本時のきよみずガエル君

- ・小数のたし算は0.1のいくつか分かで考えて、整数のたし算のように計算する。

- ・2つのジュースを合わせた合計を求めるので加法を使うという根拠をより明確にするために、テープ図を使って説明させる。
- ・線分図や既習の小数の仕組みを提示して、0.1のいくつか分かで考えればよいという見通しをもたせる。

- ・数直線図を指し示しながら説明することで、さくらさんとつばささんの考えの理解を深めることができるようにする。
- ・「0.1のいくつか分」という言葉を色を変えて板書に位置付け、さくらさんとつばささんの両方が0.1のいくつか分かで考えているという共通点に気付かせる。

- ・0.1のいくつか分かで考えるという根拠をはっきりさせるため、さくらさんやつばささんの考え方を使って説明するよう投げかける。
- ・発展的な学習として補充問題を準備する。